■使用評価マニュアル: CASBEE札幌補助ソフト(ver.1.0) ■評価ソフト: CASBEE_Sapporo2007bei_v1.0

スコアシート	重点評価項目:W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
	重点評価項目				建物全体・共用部分				
配慮項目		G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質・性能						0.40			3.1
Q-1 室内環境 1 音環境					3.2	0.40 0.15	-	_	3.4
1.1 騒音					3.0	0.40		-	0.2
1 暗騒音レベル					3.0	1.00		-	
2 設備騒音対策					3.7	- 0.40	_	-	
1 開口部遮音性能				T-2相当の建具を使用	4.0	0.40		-	
2 界壁遮音性能				= -= G. (50) + E.C. T(1) c	3.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源) 4 界床遮音性能(重量衝撃源)				スラブ厚t150+木質床張り床 スラブ厚t150+木質床張り床	4.0 4.0	0.15 0.15		_	
1.3 吸音				A COLUMN TO THE SERVICE AND TH	3.0	0.10	-	-	
2 温熱環境					3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御					3.8 3.0	0.50 0.60	•	-	
2 長荷変動・退徒制御性					3.0	-		-	
3 外皮性能	W			窓:U=2.9W/mgK,外壁·屋根:U=0.25W/mgK	5.0	0.40		-	
4 ゾーン別制御性	l					-		-	
5 温度·温度制御 6 個別制御						_		_	
時間外空間に対する配理						-		-	
8 監視システム						-		-	
2.2 湿度制御 2.3 空調方式					1.0 3.0	0.20 0.30		-	
3 光·視環境					3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 昼光利用					4.2	0.30	-	-	
1 屋光率 2 方位別開口				昼光率の計算結果より昼光率2.5以上を確保している	5.0	0.60		-	
3 昼光利用設備	W				3.0	0.40		_	
3.2 グレア対策					2.0	0.30	-	-	
原明器量のグン	,,,,					-		-	
2 屋光制御 3.3 照度	W				2.0 3.0	1.00 0.15	_	_	
1 照度					3.0	1.00		-	
1 医度均差性				100 B C 2 1 5 - 2 4 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		-		-	
3.4 照明制御 4 空気質環境				職員室のリモコンで集中制御可能	5.0 4.2	0.25 0.25	-	-	4.2
4.1 発生源対策					5.0	0.50		-	7.6
1 化学物質汚染	1			F☆☆☆☆の材料を積極的に使用している	5.0	1.00		-	
2 アスペスト対策						_		-	
3 ダニ・カビ等 4 レジオネラ対策						_		_	
4.2 換気					3.0	0.30		-	
1 換気量					3.0	0.33		-	
2 自然換気性能 3 取り入れ外気への配慮					3.0 3.0	0.33 0.33		-	
4 結気計画					0.0	-		-	
4.3 運用管理	1				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視 2 喫煙の制御				施設内・敷地内を全面禁煙としている	3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御 Q-2 サービス性能					5.0	0.50 0.30	-	-	3.2
1 機能性					3.2	0.40		-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ					4.0	0.60	•	-	
1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応						-		_	
2 同及11110週	1			視聴覚障がい者・車いす対応エレベーター、多目的便所を整備して	4.0	1.00		-	
1.2 心理性·快適性					2.0	0.40	•	-	
1 広さ感・景観 2 リフレッシュスペース					1.0	0.50		-	
3 内装計画					3.0	0.50		_	
2 耐用性-信頼性					3.4	0.31	•	-	3.4
2.1 耐震·免震				建築基準法で定められた耐震性の25%増の耐震性を確保している	3.8	0.48		-	
1 耐震性 2 免震·制振性能				左来卒年/Aでためりないに附辰社の25%増の制農社を維保している	4.0 3.0	0.80 0.20		_	
2.2 部品・部材の耐用年数	1				3.0	0.20		_	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	W			技術資料より20年の機能保持ができると考えられる	3.0	0.29		-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	W				3.0 3.0	0.12		-	
3 配管・配線材の更新必要間隔 4 主要設備機器の更新必要間隔	W				3.0	0.29 0.29			
2.3 遊頭な更新	Ţ,				-	-	-	-	
						-		-	
2 配管・配線材の更新 3 主用設備機器の更新						-		_	
2.4 信頼性	1				3.4	0.19	-	_	
1 空調·換気設備	1				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				節水型器具を採用し、主要配管の系統分けを行っている。	4.0	0.20		-	
3 電気設備 4 機械·配管支持方法				耐震安全性の分類 建築設備~乙類	3.0 3.0	0.20 0.20		_	
5 通信·情報設備	ĺ			メタル回線・光回線どちらの通信手段でも対応可能としている。	4.0	0.20		-	
	_					_		_	

■使用評価マニュアル: CASBEE札幌補助ソフト(ver.1.0) ■評価ソフト: CASBEE_Sapporo2007bei_v1.0

スコアシー	重点評価項目:W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目		重点評価項目				建物全体・共用部分 住居・宿泊部分				
		W G S		S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
3 **	性・更新性					3.1	0.29	-	17K 90X	3.1
	3.1 空間のゆとり					3.4	0.31		-	
	1 階高のゆとり					3.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ				壁長さ比率0.2である	4.0	0.40		-	
3	3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	-	-	
3	1.3 設備の更新性					3.0	0.38		-	
	1 空調配管の更新性					3.0	0.17		-	
	2 給排水管の更新性					3.0	0.17		-	
	3 電気配線の更新性					3.0	0.11		-	
	4 通信配線の更新性					3.0	0.11		-	
	5 設備機器の更新性					3.0	0.22		-	
	6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22		-	
	環境(敷地内)					_	0.30	-	-	2.6
1 生物	環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちた	なみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域	性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3	J.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	評価する取組の内4/8ポイント	4.0	0.50	-	-	
3	1.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			2.0	0.50	-	-	
LR 建築	物の環境負荷低減性									3.5
LR-1 エネ.	ルギー					-	0.40	-	-	4.3
1 建物	の熱負荷抑制	W			省エネ届書による	5.0	0.30		-	5.0
2 自然	エネルギー利用					5.0	0.20	-	-	5.0
2	2.1 自然エネルギーの直接利用	W				-	-		-	
2	1.2 自然エネルギーの変換利用	W		S	ボイラーに木質ペレット燃料を採用	5.0	1.00		-	
3 設備	システムの高効率化	W			温水交流量制御による、ポンプインバーター運転他	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率	的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
4	1.1 モニタリング	W				3.0	0.50		-	
4	I.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源	·マテリアル					_	0.30	-	-	3.4
1 水資	源保護					3.6	0.15	-	-	3.6
1	.1 節水	W			節水型器具、便器を採用	4.0	0.60	•	-	
1	.2 雨水利用·雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67		-	
	2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33		-	
2 低環	境負荷材					3.3	0.85	•	-	3.3
2	2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-	
	1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67		-	
	2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33		-	
	2.2 持続可能な森林から産出された木材	W			使用比率49%である	4.0	0.04	-	-	
	2.3 有害物質を含まない材料			l	MSDS等の確認による	5.0	0.08	-	-	
	2.4 既存建築躯体などの再利用	W		l		3.0	0.18	*	-	
	2.5 部材の再利用可能性	W			躯体と仕上材の分別可能、内装材と設備が錯綜せず	5.0	0.18	-	-	
2	2.6 フロン・ハロンの回避			l	コロン・ハロンボル刻を使用していたい	3.3	0.18		-	
	1 消火剤	W		l	フロン・ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33		-	
	2 断熱材	W	1	l		3.0	0.33		-	
	0 10 4#					3.0	0.33	-	_	6 =
1 D C #5::	3 冷媒	W					0.30		-	2.7
LR-3 敷地	外環境				大祭 バノナファ(ペーット)機料・牧木ギフ(工好ギュ)ケゼ 甲	-		_		
1 大気	外環境 汚染防止	W			木質バイオマス(ペレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0	0.15	-	-	4.0
1 大気 2 騒音	外環境 汚染防止 ・振動・悪臭の防止				木質パイオマス(ペレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0 3.0	0.15 0.10	-	- -	
2 騒音	外環境 汚染防止 ・振動・悪臭の防止 11 騒音				木質パイオマス(ペレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0	0.15	-	-	4.0
1 大気 2 騒音 2 2	外環境 汚象防止 - 振動・悪臭の防止 1.1 騒音 1.2 振動				木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0 3.0 3.0 -	0.15 0.10 0.50	-	-	4.0
1 大気: 2 騒音 2 2 2 2	外環境 汚染防止 ・援助 ・悪臭の防止 2.1 販 2.2 振動 2.3 悪臭				木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0 3.0 3.0	0.15 0.10	-	-	4.0 3.0
2 職會 2 2 2 3 風害	外環境 汚染防止 ・援動・悪臭の防止 1.1 騒音 1.2 振動 1.3 悪臭 、日照阻害の抑制				木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10	-	-	4.0
1 大気: 2 騒音 2 2 2 2 3 風害: 3	外環境 汚染防止 ・ 探動・悪臭の防止 1.1 騒音 2.2 振動 3.3 悪臭 .1 照阻害の抑制				木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10 0.70	-	-	4.0 3.0
1 大気: 2 騒音 2 2 2 3 風害: 3	外環境 汚染防止 - 援助・悪臭の防止 - 1.1 騒音 - 1.2 振動 - 3.3 悪臭 - 1 日照阻害の抑制 - 1.1 風害の抑制				木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10 0.70 0.30	-	-	4.0 3.0 3.0
1 大気 2 騒音 2 2 2 2 3 風害 3 3 4 光書	外環境 汚染防止 ・援助・悪臭の防止 1.1 騒音 1.2 振動 1.3 悪臭 、日照阻害の抑制 1.2 日照阻害の抑制 1.2 日照阻害の抑制	W	G	S	木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10 0.70 0.30 0.05	-	-	3.0
1 大気: 2 騒音 2 2 2 3 風害 3 風害 5 温熱:	外環境 汚染防止 接動・悪臭の防止 1.1 騒音 1.2 振動 1.3 悪臭 5 田照阻害の抑制 1.1 風害の抑制 7 抑制 7 抑制 7 抑制		G	S	木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用	4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10 0.70 0.30 0.05 0.30	-	- - - - - - -	3.0 3.0 3.0
1 大気: 2 騒音 2 2 3 風害 3 4 光音 5 温熱 6 地域	外環境 汚染防止 ・振動・悪臭の防止 ・1.1 騒音 1.2 振動 .3 悪臭 .1 風層の抑制 1.1 風書の抑制 1.2 日照阻害の抑制 7 回収期 1.2 日照阻害の抑制 7 可収制 7 で収載	W	G	S		4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10 0.70 0.30 0.05 0.30	-	- - - - - - -	3.0
1 大気: 2 騒音 2 2 2 3 風害 3 3 4 光書 5 温熱 6 地域	外環境 汚染防止 ・振動・悪臭の防止 ・1.1 騒音 1.2 振動 1.3 悪臭 、日照阻害の抑制 1.1 風害の抑制 1.2 日照阻害の抑制 の抑制 環境化の改善 オンフラへの負荷抑制 1.1 雨水処理負荷抑制	W	G	S	木質バイオマス(ベレット)燃料・都市ガス(天然ガス)を採用 地下浸透対策を敷地内で考慮(グラウンド含め)	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 3.6 5.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10 0.70 0.30 0.05 0.30	-	- - - - - - - -	3.0 3.0 3.0
1 大気: 2 騒音 2 2 2 3 風書 3 風書 5 温熱 6 地域 6 6	外環境 汚染防止 ・振動・悪臭の防止 ・1.1 騒音 1.2 振動 .3 悪臭 .1 風層の抑制 1.1 風書の抑制 1.2 日照阻害の抑制 7 回収期 1.2 日照阻害の抑制 7 可収制 7 で収載	W	G	S		4.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0	0.15 0.10 0.50 - 0.50 0.10 0.70 0.30 0.05 0.30 0.30	-	- - - - - - - -	3.0 3.0 3.0

■ LF	R-1 用途別得点表	学校	-	-	-	面積按分
		6,063 m2	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの高効率化	4.0				4
3.2	換気設備					=
3.3	照明設備					-
3.4	給湯設備					-
25	見咚機設備					_